

学生広告祭の第一次審査をさせていただきました。株式会社大日の鳥海と申します。今回は、3名で審査をさせていただきました。1人はラジオCMのコピーライター・ディレクターでもある株式会社トビラの佐藤延夫さんです。元弊社のコピーライターで弊社も一緒にラジオCMを企画・制作している非常に優秀なコピーライターです。もう1人は弊社内にいる録音スタジオのレコーディングエンジニア、ミキサー、サウンドデザイナーの藤田ルリ子です。TVCMやRCM、Web動画やVPなどの録音、ミキシングを担当しています。そして私がプロデューサーをしております鳥海義輝と申します。この3名でそれぞれの作品を拝見・拝聴し、採点をさせていただきました。5つの項目から3名の得点から平均点を出して総合得点として評価をさせていただきました。

それぞれの審査員の視点が、コピーライター視点、サウンドデザインの視点、プロデューサーとしての視点がありますが、面白く楽しく審査をさせていただきました。ありがとうございます。

それを踏まえて感想や気になる点をお話し出来ればと思います。

まず、皆様の企画シートを拝見して思ったのは、企画提案の背景（企画の立脚点など）について、今回のZoffの課題、ターゲットを解決するにあたって、その背景となる資料やアンケートなどの事実確認がありますが、ここをしっかりとまとめましょう、ということ。ここがしっかり分析出来ている案は、原稿になっても分かりやすくなっていると感じます。つまり、課題や商品についてしっかり理解がされているということです。また、資料やアンケートなどの分析がどういうものなのか、誰が言っていることなのか、エビデンスやファクトをまずは明確に提示しましょう。

それを明確にすることで説得力が生まれ、市場に対して、課題に対してのアプローチの仕方をクライアントに説明しやすいし、理解されやすくなります。

書き手の好みでコピーを書くだけであれば、それは私小説や個人のSNSでやればよくて、これはクライアントがいる広告なので、そこに確かなものが必要となります。まずはこの考え方をきちんとまとめることが必要になります。

次に「伝えたいこと」、「思い」や「気持ち」をきちんと「言葉」にしてみましょう。

ラジオCMは音だけのメディアになりますので、前述した企画提案の背景や立脚点などはCMの中には書かれていませんし、音として聞こえるものではありません。ですので、伝えたいことは言葉にして伝える必要があります。ただし、全てを言葉にしなくても伝わることもあります。

例えば「好き」という言葉を「好き」と言わずに、夏目漱石は「I LOVE YOU」を「月が綺麗ですね」と言ったとか言わなかったとか。どういう言葉でもよいのですが、その気持ちや意図が伝わればよいのです。それが正しいとか間違えているのではないのです。ただ、それが「好き」という意味として相手に受け取ってもらえなければ、それは広告としては失敗なのです。広告は、企業から消費者に向けた一方的なラブレターだと思ってください。企業がまだ見ぬあなたに対して、新しい商品を知ってほしい、見てほしい、来てほしい、使ってほしい、買ってほしいという愛情を伝える手段として広告を使っているのです。ですので、どういう言葉を用いて、相手を口説くのか、誘うのか、気持ちを伝えるのか。「声」「音楽」「効果音」「間」という4つの音の構成要素を使って考えてみてください。

そして最後にタグラインを考えよう、です。友人との会話、夫婦のやり取り、歌もの、ドキュメンタリー、パロディー、擬人化、など表現手法はさまざま。友人同士の会話という手法を使って、何を言うのか。最終的に何を伝えたくて、友人同士の会話という手法にするのか。今回のZoffであれば、「そんなあなたにぴったり、Zoff」とか「そんなことになる前に、Zoff」、「みんなに選ばれています、Zoff」など。このタグラインが、一番伝えたいことでもあり、その友人同士の会話で表現したいことなのです。このタグラインにアイデアや工夫、気づき、発見、面白さなどがあり、それが消費者に納得させるものであり、理解させるものでもあるのです。なので、友人の会話であっても、歌ものであっても、すべてはこのタグラインが重要になってきます。ここを考えるのが、一番面白くて、一番難しいのです。このタグラインを、コピーを考えるために、世の中のクリエイティブが試行錯誤しています。

もし、皆さんが広告を生み出す、作る仕事に将来付きたいと思っていたら、「課題と背景の分析」をしっかりと行い、「伝えたいことを言葉にして」、「タグラインを考える」ことを大切にしてください。

これは広告業界に限った話ではありません。皆さんがこれから大切な誰かに、何かを伝える時に、どんな言葉で、何を伝えたくて、そういうシチュエーションを選び、どんな手法を取るのか。

あなたのラブレターで、大切な人を振り向かせてください。